

チドメグサ (血止め草)

名前の意味：子供が葉を貼り付けて、すり傷の血を止めたから。

分類：双子葉類、セリ科、チドメグサ属

(セリ科の栽培植物：セリ、ニンジン、セロリ)

好きな場所：日当たりのよい湿った空き地

分布：本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生)

特徴：地面をはう茎、多角形で切れ込んだ葉、金平糖のような実。



金平糖

種子の運ばれかた：そのまま落ちる

花弁の数：離弁、5裂 (小さくてよくわからない)

花の時期：6 - 9月

食べ方：食べられない

見分け方：ツボクサは、葉が大きく、切れ込まない。オオチドメやノチドメは、茎の先からは根が出ない。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)